

# 第22回

## 住生活月間功勞者表彰名簿

平成22年10月

国土交通省住宅局

## 目 次

国土交通大臣表彰（個人） .....	1
国土交通大臣表彰（団体） .....	6
住宅局長表彰（個人） .....	1 2
住宅局長表彰（団体） .....	1 5

# 国土交通大臣表彰（個人）

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
いとう さだお 伊藤 定雄  (67歳)	(株)伊藤工務店 代表取締役	(社)滋賀県建築士事務所協会 副会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
かきみ まさのり 垣見 正則  (66歳)	(株)垣見設計事務所 代表取締役	元(社)愛知建築士会 常務理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
かわい まこと 河合 誠  (61歳)	三井ホーム(株) 常務取締役	(社)日本ツーバイフォー建築協会 技術開発委員長 技術部会長	多年、住宅産業等に従事するとともに、関係団体において枠組壁工法建築の技術の向上・普及に尽力し、良質な住宅建設等の推進に寄与した。
きりき ひとし 桐木 仁志  (78歳)	(株)ジェイアール東日本建築設計事務所 顧問	元(社)建築設備技術者協会 副会長	多年、建築設備設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
こうづま たてお 上妻 建生  (62歳)	(有) 下舞建築設計事務所 代表取締役	(社) 鹿児島県建築士会 理事	多年、住宅・建築関連産業の業務に精励するとともに関係団体の役員として、業界の発展に寄与した。
さかもと てつや 坂本 哲也  (64歳)	(株) フタバ設計 代表取締役	(社) 兵庫県建築士事務所協会 副会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
さくらがわ ゆきお 櫻川 幸夫  (60歳)	(株) アーサー級建築士 事務所 代表取締役	(社) 福井県建築士事務所協会 副会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
さとう やすじ 佐藤 泰司  (58歳)	ミサワホーム (株) 総務人事部渉外担当部長	(社) プレハブ建築協会 住宅部会幹事会委員 保険問題等検討ワーキング代表幹 事	多年、住宅産業等に従事するとともに、関係団体における活動指針及び住宅の瑕疵担保対応の実態調査等のとりまとめに尽力し、住まいに係る研究啓発に寄与した。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
しなだ まさよし 品田 正義  (67歳)	(有) シナダ設備計画 代表取締役	元(社)新潟県設備設計事務所協 会 副会長	多年、建築設備設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
たいら たけお 平良 武雄  (71歳)	大鏡建設(株) 代表取締役社長	(社) 沖縄県建設業協会 理事	多年、建築事業等に従事し、公営住宅等の建設を推進するとともに、関係団体の役員として住宅リフォーム等の推進等に尽力し、良質な住宅建設等の推進に寄与した。
たばた きよし 田端 澁  (66歳)	(株) タバタ設計 代表取締役	(社) 愛知県建築士事務所協会 副会長	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
てまもと おきいえ 手間本 興家  (67歳)	手間本建設(株) 代表取締役	元(社)青森県建築士会 理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
ふかお やすぞう 深尾 康三  (62歳)	(株) 竹中工務店 専門役	(社) 日本膜構造協会 理事	多年、建築設計、工事監理等の業務に精励するとともに、関係団体の役員として業界の発展に寄与した。
まつい けんじ 松井 健治  (67歳)	(株) 松井設計 代表取締役社長	元(社) 大分県建築士事務所協会 会長	多年、住宅・建築関連産業の業務に精励するとともに関係団体の役員として、業界の発展に寄与した。
みやがわ ひろお 宮川 博雄  (66歳)	(有) 宮川工務店 代表取締役	元(社) 熊本県建築士会 理事	多年、住宅・建築関連産業の業務に精励するとともに関係団体の役員として、業界の発展に寄与した。

# 国土交通大臣表彰（団体）



団 体 名	代表者	対 象 事 業	功 績 概 要
町田山崎住宅 マンション建替組合	理事長 八木 基次	団地名：「町田山崎住宅マンション」 所在地：東京都町田市 事業期間：平成 20 年 7 月～ 21 年 9 月 規模等：2 棟、戸数 305 戸 (地上 10 階建て) 延べ床面積 18,687 m <sup>2</sup> 敷地面積 14,887 m <sup>2</sup>	<p>当地区は、東京都町田市の郊外に位置する約 300 戸の分譲団地であり、居住者の高齢化が進んでいるが、エレベーターが未設置でバリアフリー化されていない等の課題があり、建替えを行うこととした。</p> <p>建替えにあたっては、隣接する小学校と併せて地区計画を策定。団地内に広い広場等の屋外空間を設けるとともに、敷地の一部を基盤整備のために町田市に売却するなど、良好な居住環境の創出に貢献した。</p> <p>また、マンション建替えでは、区分所有者が主体となり、工夫と努力を重ねて自力で建替えが行われた。これまで、当地区のような大規模な団地を、区分所有者が自力で建替えた例は他になく、この点においても傑出している。</p>
小田原サニータウン 管理組合	理事長 合田 和泉	団地名：「小田原サニータウン」 所在地：神奈川県小田原市 事業期間：平成 21 年 1 月～12 月 規模等：4 棟、戸数 250 戸 (地上 11 階建て) 延べ床面積 14,429 m <sup>2</sup> 敷地面積 8,431 m <sup>2</sup> 工事内容：耐震補強、外壁塗装等	<p>築 30 年近くとなるマンションの耐震改修事業において、住民による専門部会を設置し、計 50 回を超える検討会を実施するなど、設計者、施工業者及び行政との事前調整を精力的に行うとともに、住民説明会を頻繁に開催し、世帯主だけでなく、主婦層等からも意見を聞けるよう配慮した。</p> <p>また、耐震改修方法についての模型の作成や、外壁の塗り替え案を実際の外壁の一部に施して改修イメージが湧きやすくなるような工夫を凝らした。</p> <p>工事の施工にあたっては、耐震改修と外壁塗装工事等を一体的に施工すると共に、良好なまちなみの形成に資するため、小田原市景観条例に適合する周辺住宅地に対して調和を図ったデザインとした。</p> <p>こうした取り組みにより、比較的合意が得にくいとされる耐震改修工事が円滑に実施され、周辺住宅地と調和のとれた良好なまちなみの形成に貢献した。</p>

団 体 名	代表者	対 象 事 業	功 績 概 要
となみ野農業 協同組合	代表理事組合長 佐野 日出勇	<p>地域優良賃貸住宅（高齢者型）</p> <p>「ちゅーりっぷの郷」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 富山県砺波市山王町</li> <li>・ 平成21年度</li> <li>・ 60戸（SRC+RC造8階）</li> </ul>	<p>当該施設は、利便性の高い駅前に位置し、歩いて暮らせる居住空間を確保し、街なかの居住人口の増加による市街地の活性化やコンパクトなまちづくりに寄与し、地域に貢献できる施設として、地域優良賃貸住宅（高齢者型）を軸に、デイサービス施設。医療施設、在宅ケアセンター、医療用住居を設け、医師・看護師・介護ヘルパー等、24時間体制でサポート出来る複合施設とした。</p> <p>また、入居者と地域住民が、活発に交流できるように、地域開放できる「ふれあいホール」を設けるとともに、入居者の健康増進や入居者同士の交流を深める場として、健康維持室や屋上広場も設けている。</p> <p>さらに、当該施設は景観、環境にも配慮した和風建築物としている。</p>
りしりふじちょう 北海道利尻富士町	町長 吉田 勤	<p>公営住宅（建替） 特定公共賃貸住宅</p> <p>「第二見晴ヶ丘団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 北海道利尻郡利尻富士町       駕泊字栄町</li> <li>・ 平成12年度～平成20年度</li> <li>・ 44戸（公営）（RC造2～3階）</li> <li>・ 12戸（特定公共賃貸住宅）       （RC造2～3階）</li> </ul>	<p>当該団地は、離島において人口3千人の町で最大団地の建て替えを実施したものである。</p> <p>厳しい自然環境の中、冬季の生活、風害、雪害、塩害を考慮し、建物の配置や屋根形状などに配慮がなされ、新省エネ基準対応住戸とするとともに、北海道を代表する秀峰の利尻富士への眺望を考慮して2、3階建の住棟とするなど、景観に十分配慮した。</p> <p>さらに少子高齢化対策やコミュニティ形成のため、多様な世帯に対応した住戸の型別供給や芝生の幼児遊園の整備なども行った。</p>

団 体 名	代表者	対 象 事 業	功 績 概 要
<p>ひろさきし 青森県弘前市</p>	<p>市長 葛西 憲之</p>	<p>公営住宅（建替） 「桜ヶ丘団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・青森県弘前市桜ヶ丘</li> <li>・平成15年度～平成21年度</li> <li>・185戸（公営） （RC造4階、木造平屋）</li> </ul>	<p>老朽化した桜ヶ丘団地の建替にあたり、景観や雪に配慮した配置計画をすると共に、高齢者の居住の安定を図るためシルバーハウジングプロジェクト事業の導入により、高齢者に配慮した住宅の整備を図った。</p> <p>また、雪国の特性を考慮し、中層の各住棟を渡り廊下で連結し、高齢者等が悪天候でも自由に往来できるよう配慮されており、高齢者単身向け住宅についても、雪下ろしが不要な無落雪屋根を採用するなど工夫されている。</p> <p>さらに、シルバーハウスや集会所の建設により入居者同士の交流が図られ、また、団地の敷地に沿って歩道を整備するなど、周辺住民も含めたコミュニティの形成に貢献している。</p>
<p>かがし 石川県加賀市</p>	<p>市長 寺前 秀一</p>	<p>公営住宅（建替） 「新川住宅」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・石川県加賀市大聖寺上福田町</li> <li>・平成17年度～平成21年度</li> <li>・50戸（木造1～2階）</li> </ul>	<p>築後40年以上経過していた旧住宅は老朽化が著しくかつ耐震基準にも適合していない状況であったため、入居者にとって劣悪な生活居住環境を改善し、行政の「安全で安心して住まえる住宅」を提供するために公営住宅の建替事業を行った。</p> <p>その際、近隣の市営住宅を統合することで維持管理費の軽減を図るとともに、同地区に残されている伝統的建物「町屋」との調和を図るよう低層木造住宅とし、地元産の赤瓦を使用するなど、景観に配慮した。</p> <p>また、団地内にコミュニティの場として「広見」を設け入居者同士のふれあいや交流ができるよう配慮した。</p>

団体名	代表者	対象事業	功績概要
<p>かみいちまち 富山県上市町</p>	<p>町長 伊東 尚志</p>	<p>公営住宅 「陽南団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・富山県中新川郡上市町</li> <li>・平成19年度～平成21年度</li> <li>・32戸（RC造2階）</li> </ul>	<p>事業者を選定するにあたり、設計から施工までの技術提案（設計段階での工夫、建設費及び維持管理費の縮減等による総合的なコストの縮減方策等の提案）を入札参加企業より募り、設計・施工型の総合評価一般競争入札を県内で初めて実施し、建設経費を大幅に縮減した。</p> <p>また、入居者の生活スタイルや家族構成に応じるため、リビングアクセスの間取りを採用し、入居者が安全に安心してすむことができるように、鉄筋コンクリート造で耐火構造の共同住宅を整備した。</p> <p>さらに、児童遊園を中心に地域の景観に調和した規模の公営住宅と集会場を分散して配置することにより、子供達を見守りやすい屋外空間を整備した。</p>
<p>たはらし 愛知県田原市</p>	<p>市長 鈴木 克幸</p>	<p>公営住宅（建替） 「緑ヶ丘住宅」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・愛知県田原市加治町</li> <li>・平成17年度～平成21年度</li> <li>・69戸（RC造1、3階）</li> </ul>	<p>当該住宅は、市営住宅の老朽化に伴う建替にあたり少子高齢化対策として住宅全体のバリアフリー化を行った。</p> <p>また、当該地区の基盤整備とコミュニティの再生を目的として、同住宅の建替に伴い団地自体を「交流の場」ととらえ、中庭や児童公園、集会所等を団地内外のコミュニティ形成のために整備した。</p> <p>さらに、同住宅を「たはらエコガーデンシティ構想」で環境共生住宅と位置づけ、環境負荷の軽減と周辺の自然資源との調和を図った。</p>

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
<p>みなまたし 熊本県水俣市</p>	<p>市長 宮本 勝彬</p>	<p>公営住宅 特定公共賃貸住宅</p> <p>「月浦団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・熊本県水俣市月浦</li> <li>・平成11年度～平成21年度</li> <li>・40戸（公営） （RC造2～3階）</li> <li>10戸（特定公共賃貸住宅） （RC造3階）</li> </ul>	<p>若者の定住促進を図ること等を目的として多様なニーズに対応するために複数の住戸タイプの間取りを採用する等の工夫を行うとともに、少子高齢化対策及び地域コミュニティの活性化を図るため、高齢者住宅の整備や団地内外に広場や公園を多く設けるなど、様々な世代間の交流を促す団地計画としている。</p> <p>また、環境共生型住宅づくりのモデルケースとして、公営住宅建設地の周辺に保全緑地、ビオトープ、調整池等を配置するなど、環境保全型の開発とした。</p>

# 住宅局長表彰（個人）

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
すずき たかお 鈴木 貴雄  (51歳)	(株) 鈴起建設 代表取締役	優良工務店の会 (QBC) 会員 一般社団法人工務店サポートセンター運営幹事 名工家 代表	多年、住宅専門工事技能者として、住まいづくりに従事し、事業の進展に寄与するとともに、後進の指導に尽力した。
たかはし ひであき 高橋 秀彰  (47歳)	盟章建設 (株) 代表取締役社長	優良工務店の会 (QBC) 幹事 埼玉県住宅建設事業協同組合 副理事長 NPO法人空の家をつくる会 代表理事	多年、住宅産業等に従事し、NPO法人を設立して地域材を活用した家づくりの普及促進に尽力し、業界の発展に寄与した。
なかむら たかし 中村 孝  (60歳)	西武建設 (株) 住宅本部 工務部部長	(社) 日本ツーバイフォー建築協会 技術部会委員	多年、建築事業等に従事し、関係団体において枠組壁工法の普及等に尽力し、業界の発展に寄与した。

氏 名	職 名	関 係 団 体 役 職	功 績 概 要
はせがわ けんじ 長谷川 賢司  (55歳)	大建工業(株) 情報業務部部長	(社)日本木造住宅産業協会 運営委員会 副委員長 資材・流通委員会 委員長 環境委員会 委員長	多年、住宅産業等に従事し、関係団体において木造住宅の普及等に尽力し、業界の発展に寄与した。
ほだか ひろし 穂高 宏  (56歳)	(財)岩手県建築住宅センター すまい・あんしん推進室部長		多年、住宅相談業務に従事し、国民の住まい方の向上に尽力した。
よしたか ひさと 吉高 久人  (53歳)	(有)吉高総合設計コンサルタント 代表取締役	(社)日本ツーバイフォー建築協会 協力コンサルタント	多年、建築事業等に従事し、関係団体において耐火建築物の普及等に尽力し、業界の発展に寄与した。



# 住宅局長表彰（団体）

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
<p>ほくりゅうちょう 北海道北竜町</p>	<p>町長 西野 陽一</p>	<p>公営住宅 「いちい団地」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道雨竜郡北竜町</li> <li>・平成20年度～平成21年度</li> <li>・12戸（木造平屋）</li> </ul>	<p>当該団地は、高齢者対策として、ユニバーサルデザイン及びオール電化の導入並びに火災警報機と連動した緊急通報システムの設置とともに、老人福祉施設や診療所などと一体化した特別養護老人ホームの隣接地に整備することにより、福祉施設と連携した拠点的な団地とした。</p> <p>また、町内で産出するレンガを住棟の外壁に使用し、周辺景観に調和するものとしている。</p> <p>さらに、次世代省エネ基準を超える断熱・気密性能を確保し、熱交換型換気扇の採用、住棟の出入り口の常夜灯にLED照明を設置するなど環境に配慮した住戸としている。</p>
<p>かみかわちょう 北海道上川町</p>	<p>町長 佐藤 芳治</p>	<p>公営住宅 「駅前団地B」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北海道上川郡上川町</li> <li>・平成19年度～平成20年度</li> <li>・12戸（木造2階）</li> </ul>	<p>当該団地は、買取公営住宅制度を活用して設計や工期を短縮し、コスト縮減を図るとともに、ユニバーサルデザインに配慮して高齢者対策を図った。</p> <p>また、積雪に対応するため、物置と自転車置き場に連続する雁木空間を設けるとともに、緑地帯と兼用の十分な広さの堆雪スペースを設け、ゆとりある空間を地域に提供した。</p> <p>さらに、テラスや住戸の内装下地に地場産材等を活用し、屋外の緑化部分の土壌改良材に地元リサイクル施設の製品を使用するなど、地域産業の活性化を図るとともに、住戸には、次世代省エネ基準を超える断熱・気密性能を確保し、熱交換型換気扇を採用するなど環境への配慮を図った。</p>

団 体 名	代 表 者	対 象 事 業	功 績 概 要
かわらまち 福岡県香春町	町長 加治 忠一	改良住宅 「三井団地」 ・福岡県田川郡香春町 ・平成14年度～平成20年度 ・92戸（RC造2階）	<p>高齢化率が非常に高く、また住宅の老朽化も激しかった三井地区の旧炭鉱住宅の代替住宅として三井団地を整備した。</p> <p>当該団地は、若年者層の入居を促進するために間取りを工夫するとともに、利用しやすい児童遊園の整備を行った。また、ほとんどの棟に3～4棟をつなぐ渡り廊下・スロープを設置することで、2階まで車椅子でも上がれるだけでなく、別棟の2階居住者同士が階段の昇り降りなしで行き来できるようにすることで、多様な入居者にも対応可能とし、団地内のコミュニケーションを図れるようにした。</p> <p>さらに、外気に接する壁及び屋根スラブに断熱材に使用し、環境に配慮すると共に、切妻屋根の瓦葺とすることにより周辺地域との景観にも配慮した。</p>